

平成 28 年 10 月 16 日（日） 光明台北校区 タウンミーティング 参加者 13 名

【地域の課題】

市民：テーマの方で 3 点挙げている。光明池駅前のコムボックスの横、イオンの跡地に、マンションのパンフレットで皆さん頂いてるかと思うが、大体 350 件ある。若い所帯で入居されるのが 350 件であって、そのうちの何割かにこどもがいるとして、最低でも 50 人位の児童はおられるのではないかと。まず一番問題になるのは通学。距離的にも危ない。中学生は自転車で通学するが、小学校は徒歩になろうかと一番懸念している。パンフレットが出ているが、学校の児童のことに一切触れていない。聞くと、説明の中で「学校はどこですか」というと「遠いです」という程度で抑えてるのが現状。そのあたりを和泉市として今後どうしていくのか。来年 3 月にはオープンなので、その辺が一番心配。

2 目、地域の安全安心を守る防犯カメラ等の設置についての件。3 年前から町会連合会として、カメラ設置の助成を受けたいと、市から 90%補助して頂いているのが現状。今年 2 台つけて、7 台付いた。何でこれを入れたかという、当然今年になってから、危機管理担当から警察等も含めてだが、主要の各市内の信号、80 台ほどが計画されていて、わが校区でも 4 か所位設置予定。ところが新年度に入ってから、小学校の協議委員会の話の中で、実は小学校に 10 台位の防犯カメラを予定しているという声が上がっているとのこと。では、今まで我々町会連合会として、各校区によって違うが、子どもたちの通学のためにとって、住宅からメインの道路の所に付けて下さいよと言ってつけたのに、あと追ってどんどん。もちろんうれしいことだが、それなら、最初もっと住宅の中で安全安心を持てるような町会の中に取り付けられたらよかったなと思う。教育委員会から来年度からこういう計画があると校長から聞かされ、ちょっと待て、それなら今あるものを全部買い上げて欲しいとなった。今も負担はしており、電気代は問題ないと思うが、後からいいことがどんどん出て来る。それなら初めからやってほしかった。ちょっとおかしいのではないかとこの所が一つある。

3 番目はこれにも関連するが、まず防犯灯、それからカメラを設置したが、街路樹が枝を張ってしまう。木を勝手に切っているものか。視野が非常に狭くなっている。交通安全についても、交差点近くの手前街路樹の剪定等について、他もあろうかと思うが、もう少し市の方で現状を見て頂いた上で、枝撤去、剪定等を検討して頂ければ。

市長：まず 1 点目。イオン跡地のマンションからの通学路の問題。これについては先ほど 50 人とおっしゃられたが、近隣の各戸推計を調査すると各学年 3 人、合計 18 人位と。これは何人になっても通学路の確保は必要だが、それについては小学校通学路交通安全対策推進協議会、これは全市的な組織だが、そこで考えていく。住宅を

買うのは自己責任だが、子どもが通う中で、どうするのが一番安全かは、学校としても市としても責任があり、地域の方と相談しながら確保していく。また、今質問はなかったが、事前にお聞かせ頂いている自治会の加入については、販売する事業主にお願ひして、極力自治会町会に加入して頂くように啓発して頂いている。罰則をつけてはどうかとか、広報を配るな、と言われてたりもするが、市民全員に広報を配る必要もあるし、難しいが、地道な啓発活動が一番大切かと思う。色々な所と協定を結びながら、販売時に啓発活動を行っていく。もちろん行政としてもパンフレットを作ったりして理解を深めて頂けるような活動もしていく。

2点目の防犯カメラの設置。和泉市は安心安全のまちで進めていこうとしているが、防犯カメラの前に、防犯灯のLED化を進めた。できるだけ明るいまちを作ろうということで、和泉市には14,000近く防犯灯があると思うが、当初は12,000位の防犯灯があり、10年リースとして、2年間で各年6000ずつで、全部LED化することで明るくなるし、寿命も延びるので球取り替えの手間も省ける。電気代も安くなる。電気使用量も少なくなり環境にも優しい。これで3億円位かかったが先行した。他市で防犯カメラをどんどん設置している所もある。そういう所は、防犯灯のLED化がなかなか進んでいないところもある。どちらを優先するかということで、和泉市は明るいまちを作ろうということでLED化を先に取り組んだ。次に、防犯カメラ。これは効果があるだろうと思うが、一度にということではなく、実際に付けてみて和泉市の場合に効果があるのかどうかを検証する。カメラは1台50万円位する。安いカメラもあるが、1秒間に4枚位しか映らず、車が走っても映らないケースがある。和泉市のカメラはかなり高感度で、1秒間に16枚かな、速い車でもきっちり撮れる、高感度のものを設置しているので高い。防犯についての考え方だが、やはり防犯というのは行政だけではなく、地域と一体となって進めるのが何より大切ということで、防犯灯にしてもご負担も頂いているし、青色防犯パトロールカーも地域の方々が動かして頂いている。これも和泉市には100台位あり、大阪府内の他市に比べて突出して多い。街頭犯罪もかなり減っている。犯罪を起こしにくい環境づくりを進めることによって、犯罪を犯そうとしている人が「見られている、ここで犯罪を犯せば捕まるな」となる。最も多かった平成13年から比べると4分の1位に街灯犯罪が減っている。警察署も一生懸命やってくれているし、地域の方も見守り隊もして頂いて、地域で地域を守って頂いているという体制がある。防犯に限らず防災も同様。そういうことで、防犯カメラについてはまず、9割負担も10割負担も同じなのだが、地域の方々の意識づけをして頂きたいということで、1割負担して頂いたが、どんどん増やしていこうとしたら、そういうことばかりお願ひもできない。防犯カメラを設置することによる効果がある事がある程度掴めてきたので、どんどん増やしていくべきということで80台、警察署と相談して、犯罪が起こりやすい所に設置して、各小学校、やはり子どもを一番心配されているので、設置場所は自治会にお

任せした。どの辺を重視するかだが、通勤の方の安全を重視するところもあれば、通学中の児童の安全を重視するか、そこは自治会にお任せした。こどもだけを重視するという事は申し上げていないので、光明台の皆さんには今回まだ計画段階で、ちょっとフライングした説明と思うが、町会に説明する前に学校の協議会でポロッと出てしまったところもあり、順序についてはお詫び申し上げるが、全体的に防犯カメラを付けて欲しいという声で通学路の安全確保が全市的に上がってきたので、今回は市の方で防犯カメラ 10 台、各小学校区に、特に通勤ではなくて、子どもさんの通学場所に設置していくと趣旨が違っている。それなら最初からそうしてくれたらということだが、最初は色々検証しながらの事業だった。これからは防犯カメラが犯罪の抑止、検挙等の防犯に効果があると実証されてきたので、防犯カメラの設置をできるだけたくさんすすめたいと思う。計画が具体化した時点で早期に町会・自治会に報告したい。LED や防犯カメラの設置しているところに街路樹が邪魔している、というのは切って対応する。

【市長との意見交換】

市民：現状を見て頂くのが一番と思う。エアコンの問題について、中学校について説明はされた。今日お入りになった図書室だが、光明台北小学校はコーラス部が非常に頑張っている、指導の先生がしっかりされていて、80 人か 90 人位いるが、先月の暑い日に空調もない中、皆が廊下で練習している状態、一足先という訳にはいかないか。とにかく空調を何とかしてあげてほしい、父兄からもお願いが出ている。

市長：音楽室はないのか。音楽室にはクーラーをつけているのでは。

市民：パート練習なので一緒にはできない。

市民：金賞を 4 回位とっている。

市長：エアコン設置については、なかなか。財源とにらめっこしながら、また相談させて頂く。

市民：せっかく小学校の子どもたちが練習してうまくなってるのだが、中学にはコーラス部が無い。小学校のコーラスの先生をなんとか中学とうまく連携することも考えて頂きたい。

市民：先ほど話にあったが、あいさつ運動について。毎月 11 日には私も立たせて頂いて、地元の議員と一緒に声をかけている。こどもたちが安全に学校の門に入れるようにということでさせて頂いている。それと地元の青色パトロールカーだが、巡回してくれている。まだまだ徹底してはいないが、これから徹底的にガードしていかねばと思う。話が変わるが、先週木曜日の 13 日だが、大体木曜は北小学校の生徒は 3 時半から 4 時半までに一斉下校となるのだが、その日は私も立たせて頂いていた。学校の前に横断歩道があり、信号を良く見てわたってもらうわけだが、信号を渡ってから左へ行く歩道には信号がない。コミュニティ体育館から出てくる車や入

る車が団子状態になった。校長も一緒になって大変に汗を流した。当時は私と2人だったので手が回らない。私が要請しているわけではないので、一般の方は誰も来ない。校長も大変で、コミュニティ体育館に電話したり、色々案を考えておられるようだ。私が考えるに、本校門があり、左右に入口が東門、西門とあるわけで、西門も普段は閉まっている。業者の車が入ってきて、車道に停める場合と歩道に停める場合がある。1分ほどして鍵を開ける。誰が開けるかという受付要員が開ける。すると渋滞が起こる。時間帯が夕方なので、頻繁に納品が来て渋滞が発生する。結論から言うと、横断歩道の信号しかないので、車の信号を付けて頂きたい。これは管轄管理が役所ではないので、和泉市交通担当とご相談の上で十二分に検討して頂きたい。ご存じの通り、今年の5月にちょっとしたことがあった。大事に至らなくてよかったが、一斉下校の日でなので、700名からの児童がいるので、あれだけ車が渋滞した。だからという訳ではないが、車専用の信号を付けて頂くことを切にお願いするので、ご検討願う。

市長：市の都市デザイン部の交通担当までお伝えいただければ、その辺はしっかりと考えていきたいと思う。

市民：防犯カメラを自治会で設置する分と学校で設置する分とばらばらですすめてはいけないと思う。一元管理して我々もどこについているという認識できるように対処して頂きたい。次に、町中にある電柱だが、だんだん背も高くなり、十何メートルの電柱も沢山ある。阪神大震災の時、それが道路をふさいだという。当時と違ってインターネット等の電線もかなりぶら下がってきている。前に撮影した写真を今日持ってきたので渡しておくが、電柱が傾いている所が多々ある。インターネットの電線がぶらんと下がり、ひさしによりかかる高さに下がってきているところもあるし、あちこち見てみると昔より傾いてる電柱がよく見られる。特に市としては、幹線道路と市道を区別して管理されていると先日知ったのだが、市道の幹線道路沿いについては、そういったことを確認して頂いて、事前に対策をとって頂きたいと思う。信号機がかぶっているという所もある。もう一つは自治会の組織化の件だが、過去の会合の中で近隣未結成地域では、パンフレット配ったりした。防犯灯、防犯カメラ、ゴミの集積場とかで近隣自治会との会合をしたいなと思うのだが、できない状態。パンフレットを配布をきっかけとして、次のステップとして、市長広報の方で立ち話的に何か音頭を取って頂くとか、次のステップの活動をしていただいて、我々の隣町に新しくできた住宅と話が出来るように手助けをしてほしい。何か考えて頂きたい。

市長：電柱に関しては、NTTと関電が管理している。

市：電柱を建てていいという許可は市が出している。

市長：市道はできると思う。防犯カメラについては、これから整備をしてまとめて行きたいと思う。自治会の会員については地道な啓発活動しかなく、次のステップとし

て我々も模索しているが、全国的な問題で、自治会加入率がどうやったら上がるかという先進事例が全国的にも見つからない。そんな中で地道な啓発活動が大切なと。実際、防犯にしても防災にしても交通事故にしても、啓発活動が実って、たとえば和泉市は交通事故が非常に多かった。私が市長になって2年目位、年間交通事故死は10人あった。それで交通死亡事故多発非常事態宣言を二回位出した。和泉警察もかなり熱心に取り組んで頂いた結果として、先月にお亡くなりになった方が出たが、それまでの3年11か月間、和泉市では交通死亡事故ゼロ記録ができた。それまでは2年が全国最高記録だった。これは協議会を作って、熱心に啓発活動をして頂き、町会・自治会にも協力頂き、和泉商工会議所、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、ソロプチミスト、その他色々な団体に協力頂き、駅前での啓発活動など、そういう積み重ねがこうした結果につながったものと思う。防犯についても同じように、青色パトロールカーを走らせて頂いたり、見回り活動をしていただいて、軽犯罪も少なくなっている。そういうことと同様の積み上げを自治会の加入についても、これから気長にやっていくしか方法がないかなと思う。勧誘時に言われるのが、「どんなメリットがあるんですか」とか「役が回ってきても受けられません」という声があるが、メリットを求めるのではなく地域に貢献するという気持ちを持ち、活動の中で自分らの住みやすい地域にすることが大切で、自治会に入るメリットを求める人ばかり増えたら活動も難しくなる。

市民：自治会の啓発で増やすという話について、市長もご存じと思うが、光明台北校区というのは、校区の中でも特殊で、パストラルは新室堂の方で、我々の方は光明台、そしてその間に和田町も入る。他校区の和田町を挟んで、こどもも来る。たとえば老人集会所がある。我々は60件を1度に開発してもらったが、集会所は無い。しかし運よく老人集会所があったのでそこを借りて会合もできた。ところが新室堂地区にはかなりの一戸建ての件数で、それも50件以下ということは、民間の場合には50件以上超えると集会所を作らないといけないという条例か何かがあったと思う。全部、集会所がない。35件か45件かというところがあると思うが、集まるところが全くない。わざわざこちらの老人集会所まで貸してくれとは言っていないし、駐車場もせいぜい3台位なので来れない。結局、集まれる場所を何か一つ方法を考えてもらわないことには難しい。こういう話がしょっちゅう出る。向こう側に一つ老人集会所があっても不思議ではない。多分2,000戸はある。もう3,000超えている。こちらはわずかです。その辺一つ検討してもらえたらありがたい。

市長：その辺は和泉市の全体的な話になってくると思うが、その中で整理していかないとけない。先ほどおっしゃったように何戸か以上になったら集会所を作らないとならず、それを作ると分譲価格に反映、転嫁させないといけないから作らない。それで50戸以下を作って、それに対して市が簡単に作ろうかということになる。当然市は地域全体から納めて頂いている税金で作るわけだから、そんなに簡単にいかな

い。市全体の地域のコミュニティ化を図る上で、老人集会所の位置づけをどうしようかと今検討している。高齢者だけが使うのではなく校区・地域で集まって頂けるようなコミュニティの拠点化を図る必要があるのではないかと。坂の上にあって高齢者が歩いて行けないとか、かなり老朽化している所もあって危ない。全体的な整備計画に着手しているわけではないが、小学校区には一つ、ということで老人集会所を設置、URに設置していただいたところもあるし、校区に土地を提供いただいて市が建てたということもあるが、全体的な見直しをしていく上で、校区の事情も加味して1か所だけでなく2か所ということにもあろうかと思うが、それに関してはもうしばらくお時間を頂きたい。

市民：証明書等の料金。センターで出したら300円だが、コンビニで出すと200円ということだが、この差は何か。

市長：コンビニ交付が進んでいくと市民室の職員数を減らしていくことができる。それが人件費削減につながる。コンビニに行ってもらった方が便利だし、市民にとっても便利。

市：元々和泉市の証明書の発行手数料が他市に比べて少し安かったことや、消費税のアップもあり、手数料を上げることとなったが、今回コンビニだけはこれから普及させたいということもあって、コンビニだけは上げずに、他は上げさせて頂いた。

市民：来年度介護保険制度が変わるということで、要支援1、2の受け皿というのが地域に下ろされるということが言われており、この間説明があったのだが、具体的にどう出来上がっているのか。わかる範囲で教えて頂けたら。来年の4月から移行していかないといけないのか。

市長：担当に聞けばわかるが、今すぐにお答えできるようなものが無いので、高齢介護室の担当者に確認いただきたい。

市民：高齢介護室の窓口で教えてもらっていいか。

市：日常生活総合支援事業は来年度4月からやっていくということで、おそらく要支援1の方に関してボランティアを募ってやっていく形になっていくのかと思うが、高齢介護室の窓口にてご確認いただきたい。